

自己評価報告書（平成 28 年度）

洗足学園小学校

1. 学校教育目標

- ・ なにごとも自分で考えて行動のできる子
- ・ 大きな夢を持ち、粘り強くがんばる子
- ・ 人のためになることをすすんでできる子

2. 本年度に重点的に取り組む目標・計画

- ・ 学力の充実を図り、信頼される学習指導と進路指導をおこなう。
- ・ 代表委員会の活動を活性化し、児童の行動を自律的にしていく。
- ・ ICT の導入を本格的に進めるとともに、次の段階への準備研究を進める。
- ・ 総合的学習の一環である縦割り活動をさらに発展させる。

3. 評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none">・ 道徳教育の内容の充実を図った。・ ICT を活用した学習を進めた。・ 全教科が全学年でのシラバスを用意し、保護者に配布した。・ 「日記漢字」「筆算検定」など本校独自の取り組みで、基礎学力の定着に努めた。
進路指導	<ul style="list-style-type: none">・ 私立中学校の学校案内等の資料や各種資料を収集し、進路サポートルームで自由に閲覧できるようにした。・ 「受験体験座談会」を開催し、卒業生保護者から在校生の保護者に対して、受験の体験を話してもらい機会を設けた。・ 6年生保護者に進路面談をおこない、適正な進路についてアドバイスをおこなった。 また、卒業生からの体験談を聞く機会を設けた。・ 中学受験終了後、受験レポートを6年生児童と保護者から提出してもらい、次年度以降への参考資料に加えた。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none">・ マナー教育を進め、自覚ある行動がとれるよう指導した。・ 児童会としての代表委員会の活動を軌道に乗せ、児童の自主的な活動を進めた。・ 臨床心理士の資格を持つ「スクールカウンセラー」を配置し、教育上配慮の必要な児童の保護者との面談、児童本人とのカウンセリングをおこなった。・ 「スクールカウンセラー」から、配慮の必要な児童への関わり方についての助言を受けて指導の充実を図った。

安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校安全管理マニュアル」を作成し、教職員に周知した。 ・避難訓練（2回）の実施と起震車による5年生児童の地震体験をおこなった。 ・警察と交通安全協会による、低学年向けの交通安全教室を開催した。 ・JRと東急電鉄が協力して低学年を対象とした電車の乗り方のマナーに関する安全教室を開催した。
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・8月に2日間の校内研修をおこない、中学受験についての研修をおこなった。また、中学入試問題の傾向と指導方法などについての研修も実施した。 ・森村学園初等部でおこなわれた「関東地区教員研修会」に参加し、各教員が各教科、各分野で研修をおこなった。 ・電子黒板、iPadの利用法の研修を熱心におこなった。
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便り、学年便りを月に1回発行し、連絡事項の徹底と教育方針の周知に努めた。 ・ホームページで、「先生からのレポート」として、各種行事の写真や児童のコメントなどを発信した。
教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・全普通教室に電子黒板機能付きプロジェクターを設置し、授業で活用した。また児童用iPadを45台購入し、授業で活用した。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・全校縦割り活動を進め、春に縦割り班での全校遠足を実施した。 ・オーケストラの演奏会を夏と冬に開催した。 ・12月の同窓会総会に合わせ、ホームカミングデーとして、卒業して10年、20年・・・という卒業生を学校に招待した。

4. 総合的な評価結果

従来取り組んできたことをさらに充実させることができ、教科指導についての効果が上がっていると評価される。進路指導も例年同様の取り組みをおこない、進学実績において過去最高と言える実績をあげることができた。また、アレルギーのある児童の把握が進み、緊急時への対応や日常の備えが充実した。児童への対応がきめ細かくおこなわれるようになった。

縦割り活動が充実し、より異学年の交流を活発にするとともに、児童の責任感や思いやりの心を育むことができた。

道徳教育が充実し、児童の行動や考え方に良い影響があった。

入学試験の志願者がさらに増加し、過去最高の数となった。